

ほっとケーキ だより

27号

2022年
5月23日

発行：
親の会「ほっとケーキ」

親の会活動日： 月1回 第二水曜日14:00～16:00

フリースペース開催日： 毎週月曜日・水曜日12:30～16:30

開催場所：いずれも佐賀市青少年センター 佐賀市松原2-2-27バルーンミュージアム3階

郵便物送付先：〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル7階 市民活動プラザ内レター
ケースNo. 24 親の会「ほっとケーキ」

電話：080-4310-3277 E-mail: hotcake06@hotmail.co.jp

HP: <https://oyanokaihotcake.jimdofree.com/>



コロナも落ち着かないままですが、新緑から深い緑へと季節は動いています。みなさま
元気で過ごしのことと思います。ご支援ご協力いつもありがとうございます。

先日、「夢みる小学校」という映画をみました。みながら思い出したことがあります。
河合隼雄著「子どもと学校」という本です。1992年出版された本ですが、今でも新鮮で
す。

“現代社会の一員として生きていくためには、人間は実に多くのことを身につけねばならない。膨
大な知識、そして、社会人として暮らしてゆくのに必要な規範、対人関係を維持する能力などを
身につけなければならない。それを思うと、大人としては子どもに「教える」ことに熱心にならざるを
得ない。教育において、教えることが中心になるのも当然と言えるだろう。

しかし、ここで反省しなくてはならないのが、一般的な「教え」に乗ってこない、あるいは乗れな
い子どもたちがいるということである。それと、あまりにもわれわれ大人が既成の知識体系を注入
することに熱心になりすぎて、子どもが個々にもっている個性を壊すことになっていないか、とい
うことである。この両者は案外関係しているのである。極言すると、個性の強い子どもの方が、既
成の知識を注入する「教え」には乗りがたいと言えるからである。

そこで、教育における「育てる」、「育つ」側面の重要性が浮かびあがってくる。知識を注入する
のではなく、自らの力で知識を獲得できるように「育てる」ことを考えよう。あるいは、自らの力で
「育つ」ことを援助できないかを考える。”

というくだりです。

映画の中では、「育てる」「育つ」が実践されていて、子どもたちの笑顔がすてきでし
た。しかし、私や私の周りにいる人々の現状からみれば、やはり夢のような小学校でし
た。最近では、公立でも校長裁量の元、生徒中心の学校があるとのこと、羨ましい限りで
す。

不登校の子どもを抱える保護者の方も、映画をみて「学校って何？」と改めて考え直す
のもいいかもしれません。学校と少し距離を置くためにも…。

親の会「ほっとケーキ」代表 山口由美子

映画の感想コーナー

親子関係の様々な問題に会う時、我が家の親子関係を思うことが多くなりました。最近、学校が複雑な場所であると思っています私があります。不登校の子どもたちの中には、学校に居場所が無く、周囲の目を気にして不安な思いで過ごしている子もいます。子どもの様子を心配しながら、生活に疲れ切っているお母さんもいます。そのような中、子どもがありのままの自分でいられる学校のドキュメンタリー映画「夢みる小学校」を見ました。



『夢みる小学校』

監督：オオタヴィン

2021年 日本

2020年度から教育指導要領に「探求学習」（アクティブラーニング）が取り入れられ、公教育が揺れています。映画の中では、子どもたちが行きたいと思えるような学校がありました。子どもたち達は自らの関心あるプロジェクトに無心に取り組んでいました。映像の子どもたち達の笑顔を見ながら、人が成長することとは・・・と考えさせられました。喜びを持って取り組む場所、夢中な時間があればその成長は飛躍的なものになると思います。どんな子どもも「問う力」「考える力」を体験しながら成長することができると思いました。そして子どもの頃に生きる喜びを体感することは長い人生の大きな力になると思います。悩む子どもや親たちの光となる映画でした。

私たち大人に何が出来るのか問われています。YouTubeで紹介映像がありません、多くの皆さんに視聴をお勧めします。

スクールソーシャルワーカー 於保

夢みる小学校予告編
<https://youtu.be/mfmm8oviWQ0>



編集後記

今回のお便りは、映画「夢みる小学校」の話題が多かったですが、私は同時期に上映されていた、「屋根の上に吹く風は」という、サドベリースクールのドキュメンタリー映画が印象に残っています。子どもたちの自由、自主性を大事にするスクールですが、スタッフの勤務体制まで、子どもたちの選挙投票で決めるなんて!?と、ちょっと考えてしまいました。理想を夢みて活動しているけど、そこにある葛藤も映されていたように思います。機会があればこちらも見てください。

スタッフ 森田義也



フリースペースの様子から

毎週月曜日は、お昼ごはんを作っています。独断と偏見で最近のフリースペースハッピービバークで出た、お昼ご飯ベスト3を選んでみました！基本はどれもおいしいごはんですので、印象に残ったというベストです！

ベスト2 タコライス

ひき肉とチーズの旨みが絶妙です。



ベスト3 鶏肉と豆腐のハンバーグ

大根おろしで和風味付け。



👑 ベスト1 アジフライ定食

アジが肉厚プリプリ

中濃ソースとタルタルで召し上がれ。



クリスマスにはケーキを作りました。
プレゼント交換をして
いつもよりもにぎやかなフリースペースになりました！



3月に川上にある、そよかせ館でバーベキューを予定していましたが、当日雨になり、青少年センターでの焼肉パーティーになりました。みんなよく食べてくれました！



「フードバンクさが」さんからの ご支援

2022年2月より「フードバンクさが」さんから、お米やお菓子など提供いただいています。

「ハッピービバーク」は様々な人、団体に支えられて活動が続いています。ご支援ありがとうございます！

フードバンクさが
<https://fb-saga.org/>



佐賀県不登校の親の会ネットワーク発足

2021年5月佐賀県内の不登校の親の会が集まり、「佐賀県不登校の親の会ネットワーク」として発足いたしました。現在県内の親の会11団体が、ネットワークに参加しています。親の会「ほっとケーキ」もネットワークに入っています。県内各地に親の会があります。皆さまのお近くの親の会もあるかもしれません。多くの方に知っていただけたらと思います。

佐賀県不登校の親の会ネットワーク
<https://sagakenfutoukounet.jimdofree.com/>



最近「モルック」というフィンランド生まれのスポーツを道具を備品として購入しました。木の棒を投げて、数字の付いた、ピンを倒して先に50点を取った人が勝ちというルールです。手軽に出来るスポーツですが、いかに点を取るか、いかに人に点を取らせないかと、頭も使う面白味もあって、楽しいスポーツです！フリースペースの子どもたちと一緒に私たちも楽しんでいます！



月に一回くらいのペースで、勤労者体育センターでバドミントンもやっています。子どもたちは2時間休みなく汗を流して、すごいです。学校での部活動では厳しい指導とか、勝ち負けもこだわる面もありますが、純粋に楽しんで体を動かす時間も大事だなーと思います。

